

2017年8月21日

News Release

住 所 東京都千代田区三崎町三丁目3番23号
会 社 名 芙蓉総合リース株式会社
U R L <http://www.fgl.co.jp/index.html>
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長 吉田哲也
電話番号 03 - 5275 - 8891

リバーフィールド株式会社への出資のお知らせ

当社は、国産初の手術支援ロボットを開発中であるリバーフィールド株式会社に対して、リース・レンタル等の販促提携を前提とした出資を行いましたので、お知らせいたします。

具体的には、リバーフィールドが実施する総額10億円の第三者割当増資のうち3億円を引き受け、出資しました。又、自動車部品メーカーの三恵技研工業株式会社も同様に同社に出資し、手術支援ロボットの駆動ユニットの開発を行う予定としています。

リバーフィールドは東京工業大学発の産学連携のベンチャー企業であり、東京工業大学、東京医科歯科大学と共同開発を進めている「空気圧操作技術」により、現状の手術支援ロボットの課題となっている「操作時の力の感覚」を確保した上で、さらに小型化、低価格化を実現する計画です。2020年に実用化を見込んでおり、手術支援ロボットで先行している米国インテュイティブサージカル社の製品「ダ・ヴィンチ」に対抗して行く構えです。

「手術支援ロボット」は、日本のロボット技術の実用化という面で期待を集めている分野です。本件は「国産初の手術支援ロボット」ということで、開発が進むにつれて高い注目を集めていくものと考えております。

当社は2017年にスタートした新中期経営計画「Frontier Expansion 2021」において、「医療福祉」を戦略分野の一つとしており、経営資源を集中的に投下していく計画としています。

「医療福祉分野」では、入口から出口までワンストップのサービス提供を目指した事業機会の創出と育成を行っていきたいと考えており、不足している機能やサービスについては資本提携も含めた提携により積極的に強化していく方針です。この方針に基づき、2017年1月に診療・介護報酬の債権買取サービスを持つアクリーティブ株式会社を連結子会社化、続いて2017年3月に中古医療機器の撤去・販売業の株式会社F U J I T Aとの資本業務提携を行っていますが、本件出資についてもこれらの強化策の一環と位置付けております。

当社は今後とも未来に繋がる技術開発に対して、リースやファイナンスなどを通じて積極的に関わっていくことで、「医療・福祉」の発展に貢献していきたいと考えています。



リバーフィールドが提供する手術時にカメラを持つ「スコピスト」の役割を果たすロボット「EMARO」

以上